

市議会における政策提案とその対策等					
〔一般質問〕					
担当課	子育て支援課	議員名	岩崎 義弥 議員	提案月	R 元.6
〔提案事項〕					
<p>病後児保育について、周知に努めてもらいたい。 母子生活支援施設を活用して病児・病後児保育を始められないか。 武雄市以外とも複数市町と連携して利用可能な施設を増やせないか、</p>					
〔現況等〕					
<p>伊万里市の病後児保育室「すこやか」の存在や、武雄市の病児・病後児保育室「テトテ」が利用できることを知らない保護者がいる。周知不足は否めない。</p>					
〔政策提案を受けての対策〕					
<p>周知については、インフルエンザが流行る前に市報等を通じて行う。 他市町との連携については、連携中枢都市圏構想において佐世保市と病児保育について協議することとなっているため、引き続き佐世保市の病児保育が利用できるよう協議を進める。 母子生活支援施設での病児・病後児保育の開始については、そのまま、現施設を使うことも含めて、検討する。</p>					
〔対応状況・令和3年3月31日現在 完了〕					
<p>10月1日に開催される園長会において、チラシを配布し、「すこやか」及び武雄市の「テトテ」の周知を図るとともに、ホームページに再度掲示した。</p> <p>他市町との連携については、西九州広域させぼ都市圏における協議の中で伊万里市民が佐世保市の施設を利用できるよう検討する。</p> <p>「すこやか」の場所については、別を探したが、なかなかないため、令和2年度については、現施設を利用する。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の関係もあり、保育園への登園自粛要請を行うなど、家庭内保育が多かったこともあり、利用はまだあっていない。場所については、引き続き検討する。 (令和2年7月～)</p> <p>9月末時点においても、すこやかの利用はまだあっておらず、また、武雄市の病児・病後児保育室テトテの利用もあっていない。 (令和2年10月～)</p> <p>12月末時点においても、すこやかの利用はまだあっておらず、また、武雄市の病児病後児保育室テトテの利用もあっていない。</p> <p>このようなことから、12月に保育園保護者を対象としたアンケートを実施。病後児保育室そのものの認知度、場所の認知度、利用の有無などを聞いており、現在分析を行っている。 (令和3年1月～)</p> <p>令和3年3月末においても、病後児保育室の利用は0であった。</p> <p>病後児保育についてのアンケート結果では、病後児保育を知っている人の割合は全体(1,290人)の70%である一方、利用したことがある人の割合は2%だった。また、今後利用しようと思わない人の割合は64%で、利用しない理由としては、「仕事を休める」及び「預け先がある」が上位を占めた。場所を知っているかについては、知らないと答えた人の割合が67%だった。</p>					

様式1

この結果から、病後児保育室そのものの認知度はある程度あるが、仕事を休めたり、預け先があるために利用しない人が一定数いることが分かった。

ただ、そうした環境にない人のために病後児保育室は必要なので、今後も周知は必要である。今後の予定としては、令和4年3月の広報に市民交流プラザに引っ越したことを掲載し、周知を図る。これにより、母子生活支援施設にある頃よりも分かりやすい場所になるため、場所の認知度を向上させることができる見込み。

さらに、西九州広域させば都市圏と協定を結び、令和3年4月から同都市圏に参画している市町の病後児保育施設の利用も可能となる。